

「あっち行って！」



だるま落としをしてあそんでいる3歳児の子どもたちの中に、Fくんが入ろうとしたとき、Gくんが大きな声を
あっち行って!

先生、ほく何もしらんがにGくんが『あっち行って』って言った。『そいが言わんで』って言っても知らん顔しとる。
それは嫌だったね。Gくん、どうしたん？何かあったんかな？Fくん、悲しそうやよ。どうしたらいいかな。



トラブルを通して、互いの気持ちを伝え合いどうしたらいいか考えることができるようかかかっていきたいと思ひます。

「なでなで」

登所時、涙を見せることが多かった2歳児のHくんは、ままごとやブロックなどのあそびに目を向けるようになってから、笑顔で過ごす時間がとんとん増えてきました。



Hくんの近くであそんでいたIちゃんが、急に大声で泣き出しました。友だちが使っている赤いバックを貸してもらえなかったからです。



HくんはIちゃんのそばへ行くと、やさしく頭をなで始めました。



Iちゃんの涙が止まると、ホッとした表情を見せるHくんの姿に、友だちのことを思いやるやさしい気持ちが育っていることを改めて感じさせられました。

